

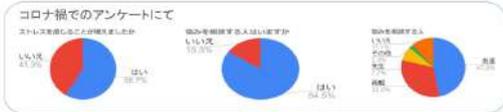
神奈川県立光陵高等学校

保健委員会&生徒会執行部



高校生ボランティア・アワード2024

折れない心を育む レジリエンスプロジェクト



昨年度
＜レジリエンス力を高めるための活動＞

- ①コロナ禍、緊急事態宣言により、地域の状況も大きく変わり、活動の場も限られてきた。
- ②「ふるさと」をテーマに、地域の魅力を伝えるための活動を行いました。
- ③「希望」の文字をテーマに、地域の未来を思い描く活動を行いました。
- ④地域の文化や歴史を学ぶための活動を行いました。
- ⑤地域の課題や問題について話し合い、解決策を模索する活動を行いました。
- ⑥地域のイベントや行事に参加し、地域の方と交流する活動を行いました。

今年度
＜活動の輪を広げる＞

- ①地域のイベントや行事に参加し、地域の方と交流する活動を行いました。
- ②地域の課題や問題について話し合い、解決策を模索する活動を行いました。
- ③地域の文化や歴史を学ぶための活動を行いました。
- ④「希望」の文字をテーマに、地域の未来を思い描く活動を行いました。
- ⑤「ふるさと」をテーマに、地域の魅力を伝えるための活動を行いました。
- ⑥コロナ禍、緊急事態宣言により、地域の状況も大きく変わり、活動の場も限られてきた。

＜イベント宣伝＞ FM戸塚にて



＜境木商店街ハロウィン＞



＜ハロウィンイベント＞



＜クリスマスイベント フルボエ4重奏＞



つながることで強くなれる心

宮城県東松島市で靴下から生まれたソックスモンキー「おのくん」被災地の仮設住宅で生活していた、お母さんが東松島市の復興を願って生まれた人形です。そんなおのくんを広め、復興のお手伝いができないかと自校のキャラクター「ごんたん」を「おのくん」を参考に生まれたキャラクターソックスリス「ごんたろう」。少しでも被災地に関心を持ってくれる方が増えるようにとの思いで活動しています。夏休みを活用し、ごんたろうを作成しました。そして、文化祭で東松島市女川町への募金をしてくださった方に抽選でごんたろうをプレゼントしました。ごんたろう目当てに募金して下さった方も多数おり、おのくんから生まれたごんたろうが被災地の復興支援というかたちになりました。募金額は2日間で7594円となり多くの方に取り組みを知ってもらえました。「ごんたろう」や募金を通しておのくんの存在が広まり、光陵高校と東松島市という遠い距離を乗り越え、つながり協力することができました。

おのくん
・宮城県東松島市の仮設住宅で誕生
・靴下で出来ている

ごんたろう
・おのくんを参考に夏休みを活用し、ごんたろうを制作

文化祭
・募金に協力して下さった方にごんたろうをプレゼント

成果
・2日間で、7594円の募金
・ごんたろうを通して被災地の復興に貢献できた

今年も継続

菜の花プロジェクト

高校のフロンターで育った菜の花の種を近所の高校や小学校、支援学校に配り、各地に菜の花を届けることで笑顔を広げていった。



「つなげる笑顔・つながる笑顔」

今後について
私達保健委員はこれまで「レジリエンスプロジェクト」の一貫として行ってきた「菜の花プロジェクト」をさらに拡大するため環境美化委員と連携し、この活動に加わる人数を増やしていきたいと思っています。そしてこの活動によって多くの地域に菜の花の種を届けより多くの人が菜の花によって笑顔になれるようにしていきたいです。また、新たな取り組みとして被災地訪問の経験を活かして今年度は防災の活動としてポスターの作成にも精力的に取り組んでいきたいと考えています。

コロナ禍の心の健康を考えて活動を続けていく中で、元気を届けに行っていたはずの私たちが、逆に多くの方からたくさん笑顔ももらい、まず行動に移してみる大切さを学びました。これからも一歩踏み出す勇気をもって、元気を届ける活動をしていきたいです。



地域の方々との交流

老人ホームでの演奏
老人ホーム、小学校などでハンドベルを演奏し、地域の方に笑顔を届けた。



境木商店街でのイベント参加

音楽隊の演奏をしたり、写真スポットを作ったり、子供のための企画のボランティアとして参加した。



保健委員会&生徒会執行部

コロナ禍の「心の健康」を考え、保健委員会として活動が始まり、校内全体にも活動の輪を広げていこうということで、生徒会執行部と協力して活動を行ってきました。現在は、多くの生徒への呼びかけ、次第に活動の人数も増え、活動の輪が広がってきました。活動を続けて行く中で、地域の高齢化からイベントを縮小せざるを得ない現状を知り、地域のイベントにボランティアとして参加し、イベント運営に協力をしています。